

▶ケミカルピーリング（しみ・くすみ、毛穴開大、にきび）

ピーリング剤（グリコール酸）を塗布し古い角質や皮脂を取り除くことで、皮膚のターンオーバーが促進されます。

主な効果： ①しみ・くすみの改善

②毛穴のつまり改善・毛穴の開きを目立たなくする

③皮膚のきめの粗さを改善

④にきび菌増殖による炎症の改善、皮脂分泌の正常化

治療間隔は症状、目的により異なりますが、最初の4回は2週間に1度、その後は3～4週間に1度の間隔で継続することをお勧めしています。

施術当日から通常の生活が出来ます。

基本的に施術後に赤み、腫れなどが出現することはありませんが、この様なトラブルが起こらない為に、施術前に日焼け、傷などの有無を医師がチェックし、当日に施術を中止することもあります。

▶イオン導入（くすみ、毛穴開大、にきび、炎症性の赤み）

電気の流れを利用し、高濃度ビタミンC誘導体を直接皮膚の深部に導入する治療法です。

ケミカルピーリングにより古い角質をはがしたタイミングでイオン導入を行うと、高濃度ビタミンC誘導体の吸収が高まり、相乗効果を期待できますので併せて行う事をお勧めします。

また、炎症性のにきびが悪化した時などは定期ケミカルピーリングの間にイオン導入単発を行うと改善が早まります。

微弱ですが、電気を流すため、妊娠中・ペースメーカーを使用されている方はお断りしています。

▶院内自家製剤

当院では目的に合わせて様々な院内自家製剤を処方しております。

①水溶性ビタミンC誘導体配合ローション（モイスト・ライト）

10%のビタミンC誘導体を配合し、肌の張り・明るさの改善を期待できます。

また、モイストにはヒアルロン酸を配合しさらに保湿力を高めています。

②5%ハイドロキノン

メラニンの生成を抑え、色素沈着の治療に使用します。

刺激を抑えるためビタミンC美容乳液と配合し、

酸化を防ぐためエアレスポンプを使用しています。

③0.1%トレチノイン

皮膚のターンオーバーを促し、色素沈着、小じわの治療に使用します。

刺激を抑えるためビタミンC美容乳液と配合し、

酸化を防ぐためエアレスポンプを使用しています。

▶Qスイッチルビレーザー（しみ・そばかす）

しみ・そばかすの原因となる表皮から真皮上層に存在するメラニンをターゲットとし選択的に破壊することで、周囲の組織へダメージを最小限に抑えしみ・そばかすを除去する治療法です。

照射後は最低 10 日間スキントーンテープを貼付したままにして頂きますが、洗顔、入浴、洗髪など日常通り生活して頂けます。

照射数日後から薄い膜状の黒いかさぶたになり、10日から14日後にはがれます。かさぶたがはがれたら、テープはせず通常のメイクをすることが出来ます。

照射時はゴムではじかれた程度の痛みを伴うため、ご希望の方は経皮吸収麻酔テープを処方いたしますので事前にお申し付けください。

通常 1 回の照射でしみ・そばかすがほとんど目立たない程に取れることが殆どですが、かさぶたがはがれた後の赤みが強くその後一時的に色素沈着を起こす場合がありますが、数か月から半年ほどで徐々に落ちていきます。

▶炭酸ガスレーザー（ほくろ・小腫瘍・単純性血管腫）

炭酸ガスレーザーは皮膚内の水分に反応し蒸散させる性質を有しています。

これにより、皮膚の浅いところに存在する腫瘍（ほくろ・血管腫・脂漏性角化症など）を削り取り治療します。

切除部位に局所麻酔を注射し、目的の腫瘍をくり抜くように切除します。

術後は皮膚が欠損した状態になりますので、14日ほど、1日数回の軟膏貼付処置が必要となります。

ほくろの除去治療に関してはまれに再発することが在りますが、半年以内に再発した場合は診察料のみで再治療を致します。

▶レーザー脱毛

むだ毛の処理に手間取ったり、多毛で悩んでいる方は少なくありません。自己流のお手入れを繰り返すと肌を痛め、黒ずみ、毛穴の炎症の原因となる場合があります。

当院では必ず医師が施術しますので、衛生管理の徹底、肌質に合わせた線量の設定など、安心してレーザー脱毛を受けていただけます。

脱毛に用いるレーザーは毛根にあるメラニンに選択的に吸収されて熱に変わり、毛根を壊すことで脱毛を可能にします。

レーザースポットは40×12mmと大きいため短時間で広範囲の脱毛が出来ます。

照射時の痛みは輪ゴムではじかれた程度ですが、冷却スポットと、施術前のクーリングにより緩和されます。また、毛が太く密に存在する場合は痛みが増強する場合がありますので、ご希望の方は、事前に経皮吸収麻酔テープを処方いたします。

部位や毛の太さ、皮膚の色によって異なりますが、4～8週間ごとに4～6回照射するのが標準的です。

照射後は毛穴に一致して赤みが出現することがありますが、外用後、クーリングすることで30分以内に消失することが殆どです。

施術当日から入浴も含め、日常生活が可能です。

▶ヒアルロン酸・ボツリヌス療法（しわ）

当院ではしわを目立たなくするための注入治療を行っておりますが、お顔の全体的な表情が変わりすぎないように、事前に患者様と目的目標を十分に相談したうえで、注入部位や施術の仕方を決めています。

ヒアルロン酸注入は皮膚に長期留まる事が可能な注入用ヒアルロン酸製剤をしわの下床に少しずつ注入し、しわを目立たなくします。特に眉間・法令線・マリオネットラインにお勧めします。

ボツリヌス療法は、しわを形成する筋肉の過収縮を緩和ししわが修験しにくくします。

特に前額・目じりにお勧めします。

注入治療は穿刺部位の内出血が起こることがありますが数日で吸収消失します。

▶ビタミン注射・プラセンタ注射（疲労回復・お肌の改善）

日頃のビタミン不足解消、疲労回復、お肌の改善を目的としたお注射です。

ご年齢、目的により医師と相談して間隔を決めますが、2週間から4週間に1回の受診をお勧めいたします。

▶ピアス

ピアスを装着することにより、金属アレルギーを誘発しないように、医療用プラスチックピアス、チタンピアスをファーストピアスとして採用しています。

季節により、セカンドピアスへの変換期間を設定していますが最低1か月はファーストピアスを外さないようにしていただきます。

セカンドピアスへの変換の時にトラブルが発生することが多いため、当院では変換時に脱着指導も無料で行っております。

▶男性型脱毛症（AGA）治療（内服薬）

ザガーロ[®]・プロペシア[®] 内服療法

日本皮膚科学会の男性型脱毛治療ガイドラインでも推奨されている、科学的に高価が認められている治療法です。

男性型脱毛症の原因と考えられているDHTを阻害することにより、脱毛の抑制効果が認められています。

内服1か月後に副症状の有無を確認し、3か月から6か月継続後の効果判定で継続の有無をご相談させていただきます。